

商工観光部

令和4年度重点目標

- 1 ウィズコロナ・アフターコロナにおける事業者支援
- 2 地方創生に向けた地域産業の活性化と先端技術の導入促進
- 3 地域雇用情勢に応じた施策の展開と就業支援
- 4 多様な人材の活躍につながる創業支援と上田の卓越性を生かした企業誘致の推進
- 5 「観光地・上田」の魅力発信と誘客促進
- 6 中心市街地の活性化と賑わいと活力ある商業の推進

重点目標	ウィズコロナ・アフターコロナにおける事業者支援			部局名	商工観光部	優先順位	1位
総合計画における位置付け	第3編 誰もがいきいき働き産業が育つまちづくり 第2章 新たな価値を創造する商工・サービス業の振興 第2節 地域経済を牽引する工業（ものづくり産業）の振興			上田再構築プラン Ver.2.0「もっと、前へ」における位置付け	緊急 新型コロナ対策と即効性のある社会経済対策		
第四次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け							
現況・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・3年目となる新型コロナウイルス感染症の影響等により、上田市の経済や雇用の原動力である中小企業を取り巻く経営環境は、引き続き不安定な状態にあります。また、働き方改革や多様な人材の活用が求められたり、AIやIoT等が進展している中で、中小企業は難しい経営の舵取りを迫られています。 ・少子高齢化による生産年齢人口の減少や若年者の大都市圏への流出等の影響で、後継者や人材の不足がより一層深刻となり、事業自体の継続が困難な状況に陥る危険性もはらんでいます。 ・このような厳しい経営環境を乗り越え、将来にわたる持続的な成長の道をつくるためには、人材の確保・育成のほか、生産性の向上や新製品・技術・サービスなどの開発等が求められ、そのためのイノベーションが重要な経営課題となってきますが、中小企業の多くは所有する経営資源が不足しており、新たな事業展開が困難な場合が多い現状にあります。 						
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受ける市内事業者の事業継続の下支えと需要喚起、誘客促進のための施策を引き続き推進します。 ・第4次産業革命（AI・IoT関連）、働き方改革、生産性革命といった新たな潮流や、人材不足等の課題に対応する効果的な施策を推進していきます。 ・「上田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の推進段階にあって、展開している施策等の充実、深化を図っていきます。 ・コロナ禍や台風、原材料の高騰など様々な社会情勢や自然災害等による影響を受けても、安定的に事業継続が行えるよう施策を推進していきます。 			該当するSDGsの目標			
	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）及び（中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点）		期末報告（目標に対する達成状況・達成度）	
①	○ 関係機関と連携した中小企業支援 (1) コロナ禍における市独自の事業者支援 (2) 保証協会・金融機関と連携した資金繰り支援 (3) 商工団体と連携した消費需要喚起	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月 (3) 4月～3月	(1) 事業継続等につながる支援の実施：随時 (2) 融資実行：随時 経営相談窓口設置：随時 (3) 消費喚起事業：随時 ※実施内容は、国・県交付金の動向やニーズを注視して検討				
②	○ 関係機関と連携した雇用施策の推進 (1) 雇用施策の周知・相談 (2) 雇用情勢の把握及び各種施策の検討・立案	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月	(1) 雇用施策の周知・相談：随時 (2) 雇用情勢の把握、各種施策の検討立案：随時				
③	○ 関係機関と連携した観光施策の推進 (1) 観光関連事業者の事業継続支援 (2) 観光関連団体と連携した需要喚起と誘客促進	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月	(1) 観光関連事業者の事業継続につながる支援事業の実施：随時 (2) 観光需要喚起・誘客促進事業の実施：随時				
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			○取組による効果・残された課題			

重点目標	地方創生に向けた地域産業の活性化と先端技術の導入促進			部局名	商工観光部	優先順位	2位
総合計画における位置付け	第3編 誰もがいきいき働き産業が育つまちづくり 第2章 新たな価値を創造する商工・サービス業の振興 第2節 地域経済を牽引する工業（ものづくり産業）の振興			上田再構築プラン Ver.2.0「もっと、前へ」における位置付け	5 DXやGX等の革新的技術でSDGsを推進、人と自然が調和した活力あるまちをつくる		
第四次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け							
現況・課題	<ul style="list-style-type: none"> 経済、雇用を牽引する基幹産業である製造業の技術力の集積とA R E Cを拠点とする産学官連携の取組みが特徴であり強みでもあることから、A R E Cを中核とする各種産業支援機関との連携により、次世代に向けた工業活性化の取組を進め、しごとづくり及び雇用の確保を図ることが今後も必要です。 経済のグローバル化に伴い、大手メーカーの海外現地生産化等が進んでいる中、下請け企業は生き残りをかけ、販路拡大や研究開発型企業へと展開を図る必要があるため、幅広く、きめ細かな企業支援が求められています。 地域の特性を生かした成長性の高い新たな分野に挑戦する取組（地域未来投資）が活発になることで、地域経済における稼ぐ力の好循環の実現が期待されています。 						
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 広域連携による自治体の枠を越えた多種多様な企業間の連携を推進することで、地域経済の足腰強化と、既存産業の維持確保のみならず、次世代へつなげる新たな産業創出の支援、並びに雇用の創出を図ります。 生産現場等における技術や経験の継承及び生産効率の向上など体質強化に対して、AI・IoT等の導入に取り組む企業を支援します。 販路開拓や6次産業化などに意欲的に取り組む中小企業者に対する支援の充実により、中小企業の経営力の強化を図ります。 地域経済や雇用に関する関連機関との合同会議、各企業への経営実態調査や専門家派遣による事業所訪問等により、情報収集及び情報発信を図るとともに、支援プランを推進することで伴走型の商工業支援を図ります。 中小企業等経営強化法の導入促進基本計画に基づく設備投資による固定資産税減免などの優遇制度や生産性向上につながる設備導入を促進し、市内企業の活性化を図ります。 			該当するSDGsの目標			
取組項目及び方法・手段（何をどのように）		期間・期限 (いつ・いつまでに)	数値目標（どの水準まで）	中間報告 (目標に対する進捗状況・進捗度) 及び (中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点)		期末報告（目標に対する達成状況・達成度）	
①	○ 東信州広域連携による次世代産業創出支援 (1) 次世代ビジネスモデルの推進 (2) 次世代人材の確保・育成	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月	(1) 新規プロジェクト:1件 企業マッチング:4回 技術講演会等:9回 (2) 企業の人材確保事業:5回 企業の人材育成事業:10回				
②	○ AI・IoT等を活用した産業振興 (1) 製造現場等へのIoT導入支援 (2) IT技術者育成	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月	(1) セミナー開催:2回、 IoT補助金2件、研究会:4回 (2) セミナー開催5回（対象者10人 (オンラインを含む)）				
③	○ 意欲ある中小企業へのきめ細やかな経営支援と実態把握 (1) 商工団体・産業支援機関等と連携した販路開拓、展示会出店支援 (2) 商工会議所・金融機関との連携による企業の生産性及び経営力向上支援 (3) 経営実態調査や企業訪問による地域経済の情勢把握	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月 (3) 4月～3月	(1) 展示会共同出店:2回 (2) キャラバン隊による企業訪問:随時 (3) 経営実態調査:年1回、企業訪問:300件				
④	○ 商工団体との連携及び民間活力を導入した事業承継・M&Aの推進 (1) 事業承継・M&Aの認知度向上 (2) 専門家による個別支援	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月	(1) セミナーの開催:5回 (2) 専門家派遣:3社・10回				
⑤	○ 信州上田のブランディング促進 (1) 魅力ある新製品開発、体験型コト消費等 (2) 上田ブランドプロモーションの展開 (3) 市内温泉街の新規出店等魅力創出支援	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月 (3) 4月～3月	(1) 補助金支援件数:5件 (2) テストマーケティングの実施、銀座NAGANO、東日本連携センター等の活用:随時 (3) 補助金支援件数:3件				
⑥	○ 地域企業の設備投資支援 (1) 先端設備等導入計画策定支援及び認定 (2) 生産性向上等に資する設備投資の支援	(1) 4月～3月 (2) 7月～3月	(1) 認定支援件数:30件 (2) 支援件数:6件				
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			○取組による効果・残された課題			

重点目標	地域雇用情勢に応じた施策の展開と就業支援		部局名	商工観光部	優先順位	3位
総合計画における位置付け	第3編 誰もがいきいき働き産業が育つまちづくり 第2章 新たな価値を創造する商工・サービス業の振興 第4節 安心して働ける環境づくりと就業支援		上田再構築プラン Ver.2.0「もっと、前へ」における位置付け		5 DXやGX等の革新的技術でSDGsを推進、人と自然が調和した活力あるまちをつくる	
第四次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け						
現況・課題	<ul style="list-style-type: none"> 最近の雇用情勢は令和4年3月時点で有効求人倍率が1.47倍と前年同月を13か月連続で上回っており着実に改善が進んでいますが、新型コロナウイルス感染症の影響をはじめ、めまぐるしく変化する今後の情勢に柔軟に対応するため、ハローワークや商工会議所など関係機関と連携し雇用の維持・安定に向け必要な支援策を講じていく必要があります。 一方、潜在的な労働力不足は解消されておらず、現在も業種によっては人材不足に苦慮している事業所も多く、求職者と人材不足業種とのマッチング、学卒者等の若者、高度専門人材の地域企業への就労支援施策が引き続き必要です。加えて、テレワークなど新たな働き方が推進されている中、インフラなどの環境整備のみならず、企業による人材育成、働きがい創出などへの支援も必要です。 また、人口及び労働力人口減少対策が喫緊の課題である中、U I Jターンによる移住定住促進、自立を目指す若者、女性や就職氷河期世代など潜在的な労働力の掘り起こしを行い地域企業の担い手を確保していく必要があります。 					
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 就労サポートセンター（上田市版ハローワーク）における労働・就職相談や求職者支援、各種助成金の申請支援、関係機関との連携を通じた施策を講じて、ウィズコロナ・アフターコロナにおける雇用の維持・安定につなげます。 移住定住希望者に対する就職の相談や支援を行うとともに、様々な事情により就職することが困難な若者等を安定した正規雇用へ結びつけ市内定住を促します。 上田職業安定協会等関係団体と連携し、学卒者に対する合同就職面接会、インターンシップ等の機会を提供するとともに、SNSを活用し地域企業の情報を届け一人でも多くの学生を地域企業の正規雇用へ導きます。 		該当するSDGsの目標			
取組項目及び方法・手段（何をどのように）		期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）及び（中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点）		期末報告（目標に対する達成状況・達成度）
①	<ul style="list-style-type: none"> 就労サポートセンター（上田市版ハローワーク）事業の推進 (1) 各種助成金の相談・申請支援 (2) 就職・労働相談及び無料職業紹介の実施 (3) 地域雇用情勢の把握及び情報提供 (4) 求職者スキルアップと企業の人材育成支援 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 4月～3月 (2) 4月～3月 (3) 4月～3月 (4) 4月～3月 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 相談及び申請支援件数:20件 (2) 相談及び無料職業紹介:200件 (3) 事業所訪問:360件 (4) 支援セミナー実施 <ul style="list-style-type: none"> ・パソコンセミナー:25回 ・仕事の探し方講座:12回 ・定年退職者向けセミナー:5回 ・中小企業関係者向け:1回 			
②	<ul style="list-style-type: none"> U I Jターン就職、移住定住の促進 (1) 移住交流推進課、民間人材派遣会社と連携したU I Jターン就職支援 (2) U I Jターン就業・創業移住支援事業の利用促進 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 4月～3月 (2) 4月～3月 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 相談者数:150人 地域企業への就職者数:20人 (2) 要件変更の周知 制度利用者数:25人 			
③	<ul style="list-style-type: none"> 若年者の地域企業就職促進 (1) 関係機関と連携した学生と地域企業とのマッチング強化 (2) 民間人材派遣会社と連携した若年者就業支援 (3) 若者サポートステーション・シナノと連携した若年者自立・就職支援 (4) 学生等地域企業就職促進奨学金支援事業の普及 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 4月～3月 (2) 7月～3月 (3) 4月～3月 (4) 4月～3月 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 就活フェア等開催:4回 就職支援セミナー開催:10回 インターンシップ受入:300人 (2) 地域企業への就職:15人 (3) 相談者数:250件 自立及び就職者数:25人 (4) 要件変更の周知 対象者:10人 			
④	<ul style="list-style-type: none"> 産学官連携によるキャリア教育の推進 (1) 高校と地域企業による連携事業の構築 (2) 義務教育期におけるキャリア教育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 4月～3月 (2) 4月～3月 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 構築及び実施回数:3回 (2) キャリア教育実施回数:3回 その他事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ものづくり教室:2回 ・親子会社見学会:1回 ・ジョブキッズしんしゅう:1回 			
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点 ③(4)「学生等地域企業就職促進奨学金支援事業」は、従業員向け返還支援を行う事業者への給付のため事業者の負担が大きく（就業規則の改正が必要など）改善を検討、個人への給付へ変更しました。 			○取組による効果・残された課題		

重点目標	多様な人材の活躍につながる創業支援と上田の卓越性を生かした企業誘致の推進			部局名	商工観光部	優先順位	4位
総合計画における位置付け	第3編 産業・経済誰もがいきいき働き産業が育つまちづくり 第2章 新たな価値を創造する商工・サービス業の振興 第1節 起業・創業支援と中小企業の経営力強化			上田再構築プラン Ver.2.0「もっと、前へ」における位置付け	5 DXやGX等の革新的技術でSDGsを推進、人と自然が調和した活力あるまちをつくる		
第四次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け							
現況・課題	<ul style="list-style-type: none"> 地方創生を推進する上では、多様な人材の活躍の場作りをはじめとした企業間の関係人口の創出及び雇用機会の拡大を図る施策を推進していくが重要となります。 そのためには、若者や女性など多様な人材が起業しやすい環境を整えることや、地域特性を活かした様々な産業が集積し成長する必要があります。 地域労働力の担い手として女性の社会進出も喫緊の課題であり、仕事と育児が両立するための起業など様々な働き方に対応できる社会の実現が求められます。 インターネット社会において、働き方の多様化に対応するため、コロナ禍におけるテレワーク環境の整備とそれを活用したワーケーションの推進も重要となります。 地域労働力のあり方の変化も含めた企業誘致のあり方の検討と企業留置にもつながる施策が必要とされている。 						
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 女性のための創業スクールや創業後のフォローアップ等を行う伴走型支援体制の構築と支援メニューを実践します。 テレワーク拠点を活用した首都圏等からの創業者の誘致を行い、市内企業と創業者とのコミュニティ形成による企業間交流人口を推進し、新たな商品・産業の創出を目指します。 市内テレワーク拠点の利用促進とワーケーション事業の展開により、コロナ禍にも対応した働き方の推進と企業間交流人口の創出による市内産業の活性化を図ります。 工場誘致など雇用の創出や税収増による市内経済の活性化のみならず、市内製造業の高度化に寄与する研究機関や本社機能などの誘致を推進することで、市内企業活動の活性化を図ります。 			該当するSDGsの目標			
取組項目及び方法・手段（何をどのように）		期間・期限 (いつ・いつまでに)	数値目標（どの水準まで）	中間報告 (目標に対する進捗状況・進捗度) 及び (中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点)		期末報告（目標に対する達成状況・達成度）	
① 創業プラットフォームを中心とした創業支援の充実 (1) 商工会議所・ARECとの連携による伴走型創業支援		(1) 4月～3月	(1) 創業プラットフォームでの相談件数:300件				
② 多様な働き方の推進につながる支援 (1) スタートアップ支援 (2) サテライトオフィス開設支援		(1) 7月～3月 (2) 7月～3月	(1) 支援件数:10件 (2) 支援件数:3件				
③ 企業誘致型ワーケーションの推進 (1) 企業向けワーケーションの誘致及び市内受入事業者への支援		(1) 7月～3月	(1) 支援件数:10企業				
④ 企業誘致・留置の推進 (1) 第二期箱置工業団地への企業誘致 (2) 工場等用地取得事業・工場等設置に対する支援 (3) 宅地建物取引業協会と連携した工場用地等の情報提供		(1) 早期に実施 (2) 4月～3月 (3) 4月～3月	(1) 早期に売却 (2) 支援件数:5件 (3) 情報提供:随時				
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			○取組による効果・残された課題			

重点目標	「観光地・上田」の魅力発信と誘客促進		部局名	商工観光部	優先順位	5位
総合計画における位置付け	第3編 産業・経済 誰もがいきいき働き 産業が育つまちづくり 第3章 魅力ある観光地づくり 第1節 おもてなしで迎える観光の振興		上田再構築プラン Ver.2.0「もっと、前へ」における位置付け		5 DXやGX等の革新的技術でSDGsを推進、人と自然が調和した活力あるまちをつくる	
第四次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け	(1) 将来を見据えた新たな行政サービスへの改革 イ 多様な主体が市政に参画・協働する制度づくり エ 広域連携の推進					
現況・課題	<ul style="list-style-type: none"> 依然として新型コロナウイルス感染症の収束は見通せず、感染状況により観光動向が大きく左右されてしまう懸念はあるものの、ワクチン接種の進展に伴う感染対策と社会経済活動の両立が進むなか、徐々にではありますが、市内の観光需要は戻りつつあります。 インバウンド需要の回復には数年は要するものと想定されますが、回復後を見据え、海外における当市の認知度向上と長野市・松本市・軽井沢町などインバウンド先進地に訪れる外国人観光客を市内への取り込むための対策強化が必要となっています。 観光振興の牽引役である「一般社団法人 信州上田観光協会」と連携した事業推進が重要となっています。 					
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍にあっても、継続して観光客を呼び込むための誘客促進事業に取り組み、市内観光需要の早期回復に繋がります。 現状では、訪日外国人観光客の入込は期待できないが、今後を見据えたインバウンド施策を展開することで、需要回復後の更なる誘客促進に繋がります。 行政と民間の役割を明確化の中で、官民連携で「稼げる観光地づくり」を推進します。 		該当するSDGsの目標			
	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）及び（中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点）		期末報告（目標に対する達成状況・達成度）
①	<ul style="list-style-type: none"> ○ 観光資源の活用推進 <ul style="list-style-type: none"> (1) 日本遺産を活用した観光振興 (2) 官民連携による誘客イベントの開催 (3) 観光施設の利活用に向けた検討 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 4月～3月 (2) 4月～3月 (3) 4月～3月 	<ul style="list-style-type: none"> (1) ・Webアプリ制作：1種類 ・多言語パンフレット制作：1種類（簡体字） (2) 誘客イベント開催：4回 (3) 塩田の館でのトライアル・サウンディングの実施：通年 			
②	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広域連携事業の推進 <ul style="list-style-type: none"> (1) 北陸新幹線沿線自治体などとの広域連携を活用した誘客促進 (2) トライアングル連携（長野市、松本市、上田市）による誘客促進 (3) 真田街道推進機構他関係自治体及び各種団体と連携した誘客促進 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 4月～3月 (2) 4月～3月 (3) 4月～3月 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 誘客イベント開催：5回 (2) ・上田ー松本直行バス利用者：3,000人 ・ウルトラオリエンテーリング開催：1回 (3) 誘客イベント開催：2回 			
③	<ul style="list-style-type: none"> ○ インバウンドの促進 <ul style="list-style-type: none"> (1) （一社）信州上田観光協会と連携したインバウンド施策の推進 (2) 訪日外国人旅行者の受入態勢強化の検討 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 4月～3月 (2) 4月～3月 	<ul style="list-style-type: none"> (1) ・外国人向けHPのリニューアルの実施 ・外国人向けWebアンケート実施：1回 (2) 観光事業者との検討会議開催：4回 			
④	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「稼げる観光地づくり」の推進 <ul style="list-style-type: none"> (1) ワークেশョンの推進 (2) （一社）信州上田観光協会と連携した観光消費額の増加に向けた取り組み (3) 上田ファンづくり事業の推進 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 4月～3月 (2) 4月～3月 (3) 4月～3月 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 体験型観光コンテンツ開発支援：5件 (2) 着地型（体験型）旅行商品造成：3種類 (3) 首都圏プロモーションイベント開催：6回 			
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			○取組による効果・残された課題		

重点目標	中心市街地の活性化と賑わいと活力ある商業の推進			部局名	商工観光部	優先順位	6位
総合計画における位置付け	第3編 産業・経済 第2章 新たな価値を創造する商工・サービス業の振興 第3節 賑わいと活力ある商業の振興			上田再構築プラン Ver.2.0「もっと、前へ」における位置付け		4 日本を代表する循環型社会をつくる	
第四次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け							
現況・課題	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少問題等により、地域内の主に小規模店舗における持続可能な商業の研究が必要となっています。 中心商店街では、事業者の高齢化や売上減少等による廃業等に伴ってマンション建設が進んでおり、移住者が居住することで、まちなかの定住人口増加という喜ばしい状況の反面、マンション住民にも対応した新たな商店街づくりを模索していかなければならない段階にあります。引き続き空き店舗数の減少に努めながら、賑わいや交流が創出されるまちづくりを進めるために、ハナラボ海野やまちなかキャンパス等とも連携を強化するなかで、中心商店街の活性化を図っていく必要があります。 コロナウイルス感染症の影響が長引く中で、中心商店街への来客が減少していることから、引き続き商工団体等と連携し、事業者の事業継続を支援していく必要があります。 						
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> まちのコイン「もん」による地域のお店を使って残す取り組みを実践することで、持続可能な商業の実現につなげます。 DXを活用した顧客関係性強化のための積極的な情報発信やシェアサイクル等の新たな取り組みにより、市民や観光客等の回遊性を高め、まちのにぎわいの形成や売り上げ増につなげます。 また、空き店舗活用事業の実施により、空き店舗数の減少を図るとともに、まちなかにおいて開業できる人材を育て創業を促すとともに、商店街全体の活性化と稼げるまちづくりを推進します。 				該当するSDGsの目標		
取組項目及び方法・手段（何をどのように）		期間・期限 (いつ・いつまでに)	数値目標（どの水準まで）	中間報告 (目標に対する進捗状況・進捗度) 及び (中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点)		期末報告（目標に対する達成状況・達成度）	
①	<ul style="list-style-type: none"> ○ 商工団体及び民間事業者と連携したデジタルコミュニティ通貨実証実験の推進 (1) 商業活性化につなげるまちのコイン上田「もん」の推進 (2) 「もん」の普及促進につながるイベント等の実施 	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月	(1) ユーザー登録数：3,500人 スポット登録数：180件 (2) イベント等開催回数：年5回				
②	<ul style="list-style-type: none"> ○ 商店街の回遊性の向上 (1) 会議所・商店街との意見交換等 (2) 諸団体と連携したシェアサイクル実証実験の実施 	(1) 4月～3月 (2) 7月～11月	(1) 商店会連合会中活部会等会議5回 (2) 利用人数2,000人				
③	<ul style="list-style-type: none"> ○ 空き店舗の利活用 (1) 商工会議所、長野県宅地建物取引業協会上田支部と連携した空き店舗バンク制度の推進 (2) 空き店舗見学会 (3) 歩行者通行量、空き店舗数の継続的把握 	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月 (3) 4月～3月	(1) 宅建協会との情報交換：年6回 (2) 見学会：1回以上 (3) 歩行者通行量調査：年2回 空き店舗数の把握：随時				
④	<ul style="list-style-type: none"> ○ 商店街等と連携したまちなか交流事業の促進 (1) 商店街等が実施するイベントの開催支援 (2) 「池波正太郎生誕100年」PR促進事業 (3) 池波正太郎真田太平記館の魅力発信、企画展・文学散歩等の実施 	(1) 4月～3月 (2) 1月～2月 (3) 4月～3月	(1) 開催の都度 (2) PR展示：1ヶ所 (3) 企画展：3回、サロントーク：3回、文学散歩：1回、SNS情報発信：随時				
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			○取組による効果・残された課題			